

添付書類確認シート

各項目の「添付 」部分にチェック(☑)して添付書類を確認してください。

申請する際には、必ず次の①～④の書類を申請書に添付(同封)してください。
また、⑤、⑥に該当する場合には、その書類についても申請書に添付(同封)してください。

① 本人確認書類

- 申請書に記載されている氏名、生年月日及び住所と同一の記載がされている以下のもの
(例) ・運転免許証 ・健康保険被保険者証 ・マイナンバーカード(ただし、表面のみ)
・旅券(パスポート) ・年金手帳などの写し(ただし、申請日において有効なものの写しに限る)

「本人確認書類」と現在(申請書記載内容)の氏名、住所が異なっている場合には、補足資料が必要となります。

*氏名が異なる場合の補足資料 改姓・名の前後過程を確認できる戸籍謄本又は抄本

*住所が異なる場合の補足資料 ① 住民票
又は
② 申請者と契約者名が同一の場合には、現在の住所が記載された公共料金領収書等の写し

* 代理人申請の場合(代理人は、法定代理人又は弁護士(弁護士法人を含む)に限られます。)

- ① 被害者本人の「本人確認書類」
② 代理人自身の「本人確認書類」
③ 法定代理人たる地位を示す書類(審判書謄本等)又は弁護士に対する委任状など

* 一般承継人(相続人が被害者本人の配偶者および子の場合)申請の場合
(相続人が被害者本人の「配偶者」および「子」以外の場合はお問い合わせください。)

- ① 一般承継人の「本人確認書類」
② 被害者本人の「除籍謄本(抄本)」
③ 一般承継人の「戸籍謄本(抄本)」

② 「別紙 被害状況」

同封の「記入要領・記載例」を参考に「別紙 被害状況」を記入してください。多数ある場合は、適宜コピーをして使用してください。なお、仙台地方検察庁のホームページからもダウンロードできます。

③ 被害金額を確認できる書類

- (全て写しで可)
○ 犯人にお金を騙し取られたことが分かる資料。例えば、
・振込明細書
・お金を引き落とされた通帳写し
・クレジットカード支払明細
○ 犯人に認証コード等を伝えたことが分かる資料。例えば、
・認証コードやプリペイド式番号をメッセージで送信したメッセージ画面(それを撮影した写真など)
・セキュリティーマネーのプリペイド式番号が分かるもの
・アップルギフトカードの認証コードが分かるもの
○ 犯人にお金を渡した当時、その状況(日時、金額、渡した相手等)を詳細に記載した手帳や日記、メモの写し、又は、その状況等について、現在記憶している限りのことを詳細に被害状況別紙に記載したもの

④ 申請人名義の預(貯)金口座通帳内(うち)表紙写し

「口座名義人、支店名、口座番号」等が記載されているページが内(うち)表紙です。
申請人名義のキャッシュカード(表面のみで可)の写しでも結構です。

⑤(該当者のみ) 犯人側等から賠償金又は補てん等の名目で金銭を受領した場合

受領した金額を特定できる示談書や通帳などの写し

⑥(該当者のみ) 他の申請人との間で合意がある場合

他の申請人又は申請人となるべき者との間で各人が支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合について合意があるときは、その合意書面などの写し